

令和6年度 横越中学校経営方針

校長 中川 秀太

1 教育目標 『進んで学び 協力し合い たくましく生きる生徒』

2 目指す横越の子どもたちの姿（生徒像）と教職員像

- (1) 自ら学び、自ら考え、積極的に行動する生徒（主体性）
- (2) 相手の立場で考え、協働する生徒（協働性）
- (3) 目標に向かって粘り強く努力する生徒（たくましさ）



- ・ 明るく元気な教職員
- ・ 生徒を大切にする教職員
- ・ 信頼される教職員
- ・ 学び、努力し続ける教職員
- ・ 謙虚な教職員
- ・ 仲間を大切にする教職員
- ・ 授業で勝負できる教師

3 重点事項

(1) 学びに向かう生徒の育成

単元・題材毎や1時間の学習過程と学習形態、学習評価の工夫により、生徒が学習の主体となるよう配慮し、学びに向かう生徒の育成を図る。

また、ICT機器等も活用しながら、学習課題とまとめ、振り返りのあるUDLスタンダードを取り入れた、合理的配慮はもちろん、誰に対しても細やかで丁寧かつ分かりやすい個に応じた学習指導によって、生徒のより一層の学力向上を図る。

さらに、放課後や昼休み等に誰でも自由に使用できる学習スペースの活用や計画的で見通しが立つ基礎基本的な家庭学習課題提示、定期テスト前の質問教室等により、学力向上と主体的な家庭学習習慣の定着に取り組む。

(2) 温かく粘り強く寄り添い、みんなでかかわる生徒指導の推進

誰もが安心して過ごすことができる学校・学級・各種集団づくりを目指すとともに、私たち教職員は生徒や保護者、地域の人々の視点と気持ちを併せもち、毎月実施するアンケートを含め多面的多角的な生徒理解及び傾聴と共感による生徒や保護者とのレポート形成に努め、日々の教育活動を推進していくことが大切である。

いじめ、不登校、問題行動等の未然防止及び解消のために、全職員で素早く生徒指導情報の共有を図り、必要に応じて外部機関とも連携しながら、チームで組織的に温かく粘り強く生徒や保護者とかかわっていく。特に、初期対応と記録、報告・連絡・相談・指導・確認を大切にする。

居心地のよい学校（いじめゼロ人権集会の実施）／保護者との信頼関係（スピードは誠意）

(3) 特別活動の推進

学校行事や旅行・集団宿泊的行事、学級活動、生徒会活動、生徒会行事、部活動において、自主的・実践的な態度を育成するために、生徒の願いや意見を大切にし、生徒発の発想を活かし、話し合いにより練り上げ、成功体験を積み上げていくことで、生徒一人一人の自主的・実践的な態度を育成するとともに、自己肯定感を高めていく。

(4) キャリア教育の推進

キャリア教育について、職業教育との関係や違いを確認し、学習指導要領に位置づけられたキャリア教育の理念をもとに、体験活動を充実させながら、社会的職業的自立に向けての基盤となる能力や態度の育成に努める。また、各学年間の活動が系統的に構成されているか、キャリア教育として行われている活動が各教科間で学びや気づきが往還され、生徒自身が自分の成長と変容に気付くことができるか、という視点から改善等を図りながら、学校で行われる全教育活動がキャリア教育として機能していくよう全教職員で計画的・組織的に取り組む。

さらに、パートナーシップ事業とも関連させながら地域で育ち地域を担う生徒の育成に向けて、キャリア教育を強力に推進していく。